

【診療科:呼吸器外科】
 【レジメン登録番号:ST-45】

〈 CDDP+GEM+Pembrolizumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)				
			1	8	15		21
ゲムシタビン	1000mg/m ²	div	○	○			
シスプラチン	75mg/m ²	div	○				
キイトルーダ	200mg/body	div	○				

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 4コース】

【適応癌種: 非小細胞肺癌(扁平上皮癌)】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈Day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o.
Rp.2	キイトルーダ 200mg/body	div(30分で)
	生理食塩水 100mL ^{※1}	
Rp.3	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.4	デキサート 9.9mg	div(15分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.5	ゲムシタビン 1000mg/m ²	div(30分で)
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.6	フィジオ140 500mL	div(60分で)
	マグネゾール 10mL	
Rp.7	マンニトールS 300mL	div(30分で)
Rp.8	シスプラチン 75mg/m ²	div(120分で)
	生理食塩水 500mL ^{※2}	
Rp.9	フィジオ140 500mL	div(60分で)
Rp.10	フィジオ140 500mL	div(60分で)

〈Day2,3〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o.
Rp.2	デキサート 6.6mg	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	

〈Day8〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(15分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	ゲムシタビン 1000mg/m ²	div(30分で)
	5%ブドウ糖液 100mL	

【参考文献:N Engl J med 2023;389:491-503】

【備考:※1:最終濃度が1~10mg/mLとなるように調製すること。インラインフィルターを用いて投与すること。】

【備考:※2:生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにすること。】

【備考:術後はキイトルーダ単独の術後維持療法を行う。(ST-39を最大13コース)】